

自然災害分科会 2010年度 第4回会合 (議事録)

1. 会合概要

(1) 開催日時：2010年07月15日(木) 15:00 ~ 18:00

(2) 場所 所在地：日本橋

会場名：BCAO 日本橋事務所

(3) 今回の議長役：宮村

(4) 議事録作成者：大貫

(5) 今回の幹事：宮村

(6) 出席者：宮村、杉本、藤井、菰池、横田、橘、諏訪、大貫

(7) 主要な決定事項

①近内弁護士からの質問内容回答日

7/30日(16:00~19:00) BCAA0 日本橋事務所(神田)にて質問事項の回答を頂く。

当日にグラクソの樋口様より地震における会社の安全基準など聞く。

②「事業継続開始基準」の名称について

「被災した現地で復旧を主務とする企業、復旧戦略しかない企業にとって余震の影響(安全配慮義務、安全の確認)などで復旧を開始できない」

という前提で検討していたが、言葉だけとらえて勘違いしてしまう。

「復旧作業開始の目安」「安全確認の目安」などの名称に変えることを検討する。

③橘さんは文系チームに参加する

(8) 次回開催予定

①開催日時：9月中旬予定(日程は別途連絡)

②場所 所在地：日本橋 会場名：BCAO 日本橋事務所

(9) 配布資料

①事業継続開始基準の検討(諏訪)

②事業継続開始基準作成に向けての基本的な考え方(宮村)

③近内弁護士との日程調整内容(藤井)

④自然災害研究会名簿(大貫)

⑤地震発生時の連絡方法(大貫)

⑥小冊子目次案(大貫)

⑦第3回会合議事録(大貫)

2. 議事内容

(1) 文系チームの進捗報告

①近内弁護士とのヒアリング日程

(7)-①の日程で調整。

②目次案について

新生銀行の取組について小冊子に入れて欲しい。

(WEBシステムによる連絡方法、データ等バックアップ方法)

- ③余震の資料を弁護士に渡す件について
GIVE & TAKE なので資料を渡すのは構わない
 - ④弁護士費用について
無償でやって頂くことは相手も承知している
- (2) 「事業継続開始基準の検討」説明（諏訪）、
「事業継続開始基準作成に向けての基本的な考え方」説明（宮村）

多種、多様な意見が出た。下記は主な意見

- ①「事業継続開始基準」の名称について
1-(7)の決定事項参照
- ②基準はガイドラインのようなゆるいものでいいのではないか
- ③復旧開始基準の中に現地の状況をヒアリングして全体的な状況を把握して判断すべきではないか
→事前の想定と事後の状況を合わせて判断できる基準があればよい
- ④基準は安全を確認すべき項目のチェックリストのようなものでもいいのではないか
→現在は参集について個人の判断に任されている。
個人が安全を確認するチェックシートのようなものを配布したらどうか。
- ⑤被災した現地で情報入手は困難である。どこから情報を入手できるか明示した方がいい。
- ⑥発災後瞬時に被害状況が分かるようなシステムの導入が必要ではないか
→提言にいらしてはどうか
→例えば橋に導入して利用者が危険か否か判断できればよい
- ⑦この基準を適用する対象者を明確にする必要がある

※基本的に諏訪さんが作成した資料を基に今後検討する。

以上